

コロナ禍から活動再開するための 中国地方学域BBSオンライン ミーティング



中国地方BBS連盟
マスコットキャラクター
チュウBくん

【目的など】

中国地方BBS連盟は、コロナ禍で止まったBBS活動の再開に向けた支援策として、地方内の各地区会へ、①相談先（保護観察所、県BBS連盟、中国地方BBS連盟）があること、②1組織5万円を上限とする活動助成金がある旨の文書を発し、相談体制は整えたつもりでしたが、さらに一歩踏み込んでミーティングの実施となりました。

このオンラインミーティングの目的は、学生組織だから起こる、メンバーが1年単位で入れ替わることが、コロナ禍による1年以上の活動停止に追い込まれたことにより、これまでOJTで伝達されてきた活動が途切れた組織もある中、活動を再開しようとする時に、どうしてよいかわからない状況が起きていると想定し、大学間の横のつながりがあることで、同じ立場の仲間がいることを感じてもらい、悩みを共有しながら、これからの行動について、みんなで探そうというものです。

中国地方の学域組織を一つも取り残すことなく話し合うため3回(12/12, 12/18, 12/19)実施しました。以下7組織代表者に参加していただきました。

- ・松江地区BBS会（島根大学）
- ・島根県立大学BBSサークル
- ・美作大学BBS会
- ・川崎医療福祉大学BBSサークル
- ・東広島地区BBS会（広島大学）
- ・三原地区BBS会（県立広島大学）
- ・山口BBS会（山口大学、山口県立大学）

～もくじ～

1. 活動できていない組織
1. 1 大きな困難を抱える組織
1. 2 活動再開に向け動きつつある組織

2. 活動再開できている組織
2. 1 不安を抱えている組織
2. 2 軌道に乗りつつある組織

3. 問題の解決に向けて出た意見

4. その他

1. 活動できていない組織

1. 1 大きな困難を抱える組織①

- 東広島地区BBS会：広島大学の学生で構成・会員数20名程度

■活動■

再開できていない。

1, 2年生の会員がおらず、引継ぎ以前の問題で、組織が崩壊するのではないかと不安。

まず会員勧誘を行い、その次に活動を考えたい。活動はコロナ以前に実施していた、社会福祉協議会が実施する学習支援(生活困窮者自立相談支援事業)から始めたいと考えている。

■新会員勧誘■

コロナ禍で活動制限がある中、説明会を1回実施したが、入会は0だった。

1. 1 大きな困難を抱える組織②

●川崎医療福祉大学BBSサークル：会員数26名

■活動■

2年弱ほどコロナ禍で活動ができていないので、メンバーが自分たちの活動を知らない。

そのような中、来年2月にコロナ以前活動をしていた児童自立支援施設にて、もちつきを実施できる。その打ち合わせを1回行った。

ただ、1, 2年生はほとんど活動に参加できておらず、実質3年生の4名で活動している。

■引継ぎ■

3年生なので引継ぎをしたいけれど、何もわからない状態で部長になったので、どうしていいかわからない。

1. 2 活動再開に向け動きつつある組織

●松江地区BBS会：島根大学の学生で構成・会員数20名(2年生がいない)

■活動■

コロナ禍で半年活動ができておらず、会員のモチベーションが下がっており、案内しても参加者がほぼいない。

ただこれから、バルーンアート活動の復活、矯正施設や更生保護官署・施設など見学をしたい。

また子どもたちが相談できる場所を作りたい。

■例会■

オンラインの例会を2回実施したが、2名しか参加がなかった。ただ、来年1月からは対面で例会実施予定。

■引継ぎ■

わからないことは多々あるが、それなら自分で作ればよいと思っている。

2 活動再開できている組織

2. 1 不安を抱えている組織

●美作大学BBS会：会員数15名

■活動■

コロナ以前の活動先である、児童養護施設にて10月に活動(学習支援やおしゃべり、遊び等)を再開した。

ただ、この活動の申し込みについて、会員個人が施設へアプリで申し込む形となっており、BBS会として状況がわからない。このようなことから、会員同士のつながりがとても希薄。

新入生が積極的に参加していて、2, 3年があまり参加していない状況なので、今後は心配である。

三者交流で、更生保護女性会とつながりができたので、一緒に活動をしたい。

■引継ぎ■

わからないことだらけで心配。途絶えさせてはいけないという責任感と大きな不安。

■例会■

実習が多い学科の大学のため、メンバーが集まるタイミングが難しく実施できていない。

みんなで一緒に活動できる学園祭が中止となり、さらにメンバー同士のつながりができにくい状況である。

■新会員勧誘■

今年は勧誘会がなかったが、学校が授業の一環としてサークル紹介を実施してくれた。また学校の掲示板にポスターを貼った。

2.2 軌道に乗りつつある組織①

●三原地区BBS会：県立広島大学三原キャンパスの学生で構成・会員数：10名程度

■活動■

中国地方BBS会員研修会（オンライン）の実行委員を務めた。来春開催の学生BBS会員全国研修会（オンライン）の実行委員も務めている。大学のオンラインイベントがある予定なので、会員勧誘の動画を作成する予定。

今後、オンラインでの学習支援やおしゃべりの場を考えている。オンラインなので、他地区の方にも協力いただきたい。

■引継ぎ■

1, 2年生がおらず、また学年横断のつながりがなく、メンバーはほとんど動いていない状態で、2人で運営しており、私たちがやらなければ潰れてしまうという危機感を持っている。

2.2 軌道に乗りつつある組織②

●島根県立大学BBSサークル：会員数約60名

■活動■

コロナ禍で参加人数制限はあったものの、県立少年自然の家からの依頼でキャンプを数回実施できた。1回の会員参加人数は10名弱程度。

■例会■

対面で実施できているが、活動が多くない、またその活動に参加できる人数も限られるため、議題がなく、会員のモチベーション低下につながっている。

■引継ぎ■

先輩方が作ってくれた昔からあるファイルがあり、夏頃からそれに沿って行われている。ただ、活動があまり行われておらず、経験が少ない中での引継ぎは不安が残る。

2.2 軌道に乗りつつある組織③

●山口BBS会：山口大学と山口県立大学の学生で構成・会員数53名

■活動■

今年7月から、コロナ以前で活動していた児童館でのレクリエーション活動を再開。活動再開した頃は、山口大学と山口県立大学それぞれの連携が困難であったが、今月のクリスマス会は対面での準備を重ね、うまく実施できたと思う。ただコロナ禍であるため、活動頻度や参加人数は抑えた状態である。

■新会員勧誘■

今年度は対面で実施できた。チラシ配りや説明会を実施し、入会者があった。福祉を学ぶ人が多く、勧誘はやりやすかった。

■引継ぎ■

これまで実施できた活動が少ないため、次へのバトンタッチは不安が残る。

3. 問題の解決に向けて出た意見

☆活動☆

○活動再開時、個人的な申し込みで行われていたが、組織として困ることがあるので、活動先に相談したところ、組織的に活動できるようになった。

○困ったときには、まわりに「困っています」と声を挙げることは大切と思う。相談先は保護観察官でも県Bでも中Bでも、相談しやすいところがいいと思う。自分の場合は保護観察官が活動先を一緒に探してくださった。

○会員への活動または例会の案内について、LINEで一斉送信するより、学年ごとにLINEグループを作り、送信した方が、会員にとって意見を出しやすい面があり、参加率向上に有効かもしれない。

☆例会☆

○活動がないまたは少ない中、メンバーのつながりを作るまたは保つために、レクリエーションを取り入れたらどうか？オンラインでの例会では、手近なものでもしりとりをやり、対面では名前を覚えるためのレクを実施した。

○集まれる人数が少なくとも、その人数で話し合い、その結果をLINEで情報共有している。

☆引継ぎ☆

○後輩一人に任せるのは重たいので、LINEノートなどオンライン上にメモとして残し、伝えてみてはどうだろう？

○自分がリーダーになって困ったことを、次代に伝えてみては？

○わからないことは、自分で作れば良いと思う。

☆みんなへ提案☆

○中国地方の学域リーダーのLINEグループを作って欲しい。同じ立場での悩みや状況の共有をしたい。

4. その他（中国地方BBS連盟役員より）

・BBS運動は「運動」なので、良い時、悪い時、会員が多い少ないはあるもので、それに一喜一憂しないでほしい。

・誰も経験してこなかったコロナ禍、何をやってもいいと思う。責められることはない。なにかできることを1つやってみてほしい。

・来年は、悩みのある人に焦点を当て、継続してみんなでオンラインミーティングさせてください。

配信日：2021.12.29

配信元：中国地方BBS連盟事務局（法務省中国地方更生保護委員会 内）

mailto:newsletter@chugoku-bbs.org

